

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,226	5.7	△27	—	20	—	△16	—
25年3月期第3四半期	13,453	2.3	△60	—	△11	—	△63	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 0百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△1.82	—
25年3月期第3四半期	△6.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,661	5,554	47.6
25年3月期	12,236	5,720	46.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,554百万円 25年3月期 5,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	5.9	255	△1.1	255	△19.7	130	△39.2	13.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,169,610 株	25年3月期	10,169,610 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,476,512 株	25年3月期	724,638 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,143,969 株	25年3月期3Q	9,445,833 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資や個人消費が引き続き増大し、雇用も改善傾向となるなど内需主導型の景気回復基調が続いており、中小企業も含め企業の景況感も改善するなど、裾野の広がりを映す結果となりました。しかし、一方では設備投資や輸出を通じて成長を押し上げる製造業の回復はまだ途上であり、米国の金融・財政政策や新興国経済も不透明感が残ることから株価や為替が不安定な動きとなるなど、先行きを楽観できない状況となっております。

企業のICT投資につきましても、スマートフォン、タブレット端末などの市場拡大や社会の省エネルギー化・スマート化の進展、消費増税前の駆け込み需要などの追い風はあるものの、企業の景況感の先行きに「天井感」も漂う中で、投資姿勢には慎重な見方も残っております。

このような経営環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は、組込み用サーバ・パソコンや保守サービスなどの売上が増加し、142億26百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上増加の他、システムソリューション部門での外注費削減により、営業損失は前年同期に比べ33百万円改善の27百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となり、経常利益は20百万円（前年同期は11百万円の経常損失）、四半期純損失は16百万円（前年同期は63百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、電子デバイスの売上は前年を下回りましたが、組込みサーバ・パソコン、保守サービスの売上が増加し、売上高は79億18百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加、システムソリューション部門の損益改善により前年同期から大幅に改善し、営業損失94百万円（前年同期は1億84百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、業務用サーバが堅調に推移し、ソフトウェアやシステム開発も増加しましたが、前年同期のIDC向け大型案件の反動減により売上高は33億45百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

損益面につきましては、ソフトウェアの売上高の増加とフィールドサービスの稼働が改善され営業利益1億24百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

「西日本」は、官公庁向けのサーバ・パソコンやソリューションサービスが増加し、売上高は28億30百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上増加による増益効果があったものの販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益94百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億75百万円減少し、116億61百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加2億83百万円や、商品が4億79百万円、仕掛品が1億88百万円増加する一方、現金及び預金が3億23百万円、受取手形及び売掛金が11億22百万円、電子記録債権が1億34百万円減少するなど、流動資産が8億75百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億9百万円減少し、61億7百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億11百万円、賞与引当金が2億54百万円、未払法人税等が1億35百万円減少するなど、流動負債が3億40百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億66百万円減少し、55億54百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得などによる株主資本の減少1億83百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込みどおりに推移しており、平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987,543	3,664,539
受取手形及び売掛金	4,487,868	3,365,145
電子記録債権	210,585	76,201
商品	707,807	1,186,814
仕掛品	90,800	279,189
その他	290,714	326,436
貸倒引当金	△2,872	△1,345
流動資産合計	9,772,447	8,896,981
固定資産		
有形固定資産	784,827	1,068,040
無形固定資産	220,195	213,021
投資その他の資産		
投資有価証券	329,890	407,638
敷金及び保証金	556,150	555,948
繰延税金資産	491,966	439,903
その他	84,679	84,146
貸倒引当金	△3,550	△4,368
投資その他の資産合計	1,459,136	1,483,268
固定資産合計	2,464,159	2,764,330
資産合計	12,236,606	11,661,312
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,609,235	2,497,529
短期借入金	1,080,000	1,080,000
未払法人税等	148,165	12,704
賞与引当金	369,200	114,413
役員賞与引当金	20,000	-
受注損失引当金	5,330	15,288
その他	790,097	961,617
流動負債合計	5,022,028	4,681,552
固定負債		
退職給付引当金	1,328,008	1,272,916
役員退職慰労引当金	104,782	90,494
資産除去債務	61,576	62,269
固定負債合計	1,494,367	1,425,680
負債合計	6,516,396	6,107,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	1,181,323	1,108,053
自己株式	△137,482	△247,275
株主資本合計	5,696,458	5,513,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,615	68,248
為替換算調整勘定	△16,863	△27,564
その他の包括利益累計額合計	23,752	40,683
純資産合計	5,720,210	5,554,078
負債純資産合計	12,236,606	11,661,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	13,453,914	14,226,085
売上原価	11,116,493	11,759,737
売上総利益	2,337,420	2,466,348
販売費及び一般管理費	2,397,843	2,493,658
営業損失(△)	△60,422	△27,310
営業外収益		
受取配当金	6,637	6,670
保険戻戻金	32,417	7,736
助成金収入	243	7,765
為替差益	11,160	19,021
その他	8,960	14,016
営業外収益合計	59,418	55,209
営業外費用		
支払利息	7,223	6,508
その他	2,915	1,140
営業外費用合計	10,138	7,649
経常利益又は経常損失(△)	△11,142	20,249
特別損失		
投資有価証券評価損	18,800	—
特別損失合計	18,800	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,942	20,249
法人税、住民税及び事業税	20,270	19,270
法人税等調整額	13,594	17,579
法人税等合計	33,864	36,849
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63,807	△16,600
四半期純損失(△)	△63,807	△16,600

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63,807	△16,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,538	27,632
為替換算調整勘定	△10,356	△10,700
その他の包括利益合計	△12,894	16,931
四半期包括利益	△76,702	331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,702	331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,389,182	3,348,695	2,579,061	13,316,939	136,974	13,453,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,441	3,600	900	12,941	172,484	185,425
計	7,397,623	3,352,295	2,579,961	13,329,881	309,459	13,639,340
セグメント利益又は損失(△)	△184,816	117,124	116,995	49,303	△15,892	33,411

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	49,303
「その他」の区分の利益	△15,892
セグメント間取引消去	1,000
全社費用(注)	△94,833
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△60,422

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,918,892	3,345,129	2,830,299	14,094,320	131,764	14,226,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,779	1,451	900	11,130	202,934	214,064
計	7,927,671	3,346,580	2,831,199	14,105,451	334,698	14,440,150
セグメント利益又は損失(△)	△94,417	124,668	94,275	124,527	4,235	128,762

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	124,527
「その他」の区分の利益	4,235
セグメント間取引消去	241
全社費用(注)	△156,314
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△27,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。